

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
数学	理系数学演習	3年(理系)	2	リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B abc (数研出版)

到達目標	高校内容の数学全般における実力の底上げを目標とする。科目や単元を超えた融合問題にも対応できるよう、多様な解法を身に付ける。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	1、2年生で学んだ数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bの内容について、数学を積極的に活用できるよう演習問題集などを使い総復習する。また、複数科目の内容を組み合わせた問題演習も行う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4 5	数と式 集合と命題 2次関数 三角比 データの分析	数学Ⅰの復習を通して、基本的な計算を行う力を身につけ、事象を数学的に考察できるようにする。	観察・課題・考査	(ウ) (ア) (イ) (ウ) (エ) (ウ) (エ) (ア) (イ)
6 7	順列 組み合わせ 確率 整数の性質 図形の性質	順列・組み合わせ・確率で、事象をモデル化して考える力を身につける。 整数の性質・図形の性質では、数と図形を双方の観点から考察できる力を身につける。	観察・課題・考査	(イ) (エ) (イ) (エ) (イ) (ウ) (ア) (イ) (ア) (エ)
8 9 10	複素数 高次方程式 式と証明 図形と方程式 三角関数 指数・対数 微分・積分	数学Ⅱの復習を通して、複雑な計算を簡潔に処理できるようにする。また、図形と式の関係を考察できるようにする。	観察・課題・考査	(ウ) (エ) (ウ) (エ) (ア) (ウ) (イ) (エ) (ウ) (エ) (ア) (エ) (ア) (ウ)
11 12	数列 数学的帰納法 ベクトル	数列・数学的帰納法では、事象を演繹的に証明する方法を身につける。 ベクトルでは、図形の性質を、計算を通して考察できるようにする。	観察・課題・考査	(ア) (エ) (イ) (ウ) (イ) (エ)
1 2 3	総合演習	1学期および2学期を通して学んだ中で基本的な知識を理解し身につけ応用できるようにする。	観察・課題・考査	(イ) (ウ)